

広報
Kouhou Wakasa

わかさ

2²⁰²³月号
No.214



[特集] 02

町長新年ご挨拶

[特集] 04

介護などのお困り事は地域包括支援センターへ

06 ドキ! DOKI! 情報局

08 情報BOX



新年ご挨拶



若狭町長
渡辺 英朗

新年、明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和5年の年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

若狭町の町政の推進ならびに新型コロナウイルス感染症の感染対策にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を顧みますと、4月には、世界的なウェディングドレスデザイナーである桂由美先生の作品を展示する、「ユミ・カツラ・ミュージアム」ならびに「ブライダルランド・ワカサ」が、日本初のブライダルファッションミュージアムとしてオープンいたしました。

恋人の聖地でもある、レインボーライン山頂公園とひとつにつながり、若狭町の新たな賑わいの拠点として、町内外から多くの皆様に訪れていただけるよう、引き続きPRに努めて参ります。

また、道の駅若狭熊川宿の西側に、熊川トレイルの玄関口となる芝生広場と駐車場が一体となったポケットパークが完成いたしました。

現在、熊川宿では、住民の方々をはじめ民間事業者や若者が一体となり、歴史ある景観を活かした空き家の再生や熊川くずなどを活用した特産品の開発など、新しい時代のまちづくりが活発に進められています。

さらに、観光資源の充実を図るべく、県営河内川ダム周辺やお花見広場ではアウトドア施設の整備を行っており、令和5年夏ごろの完成を目指して

います。

熊川エリアにアドベンチャーツーリズムの要素が加わり、今まで以上に多くの観光客や町民の皆様に訪れていただけるものと、期待しております。

5月には、第30回の記念大会となる「若狭三方五湖ツーデーマーチ」を開催することができました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶりの開催となりましたが、好天に恵まれ、全国より3059名の方々にご参加をいただきました。

8月には、南越前町を中心に大雨による甚大な災害が発生いたしました。当町においても、河川の治水対策や防災減災対策を継続的に実施するとともに、県や国に対しても予算措置がなされるよう、強く要望してまいります。

また、関係団体との連携強化、町や地域づくり協議会などで行われる防災訓練などを通して、防災意識の向上を図ります。子育て支援については、一層の充実を図るため、子ども医療費の18歳未満無償化を実現することができました。

10月には、有料道路レインボーラインの県道化に伴い、通行料が無料となり、さらなる観光客の増加が見込まれます。JR小浜線全線開業100周年イベントや住民参加型の若フェスの開催など、北陸新幹線敦賀開業を間近に控え、賑わいの創出や県と嶺南地域が一体となった観光の磨き上げ、重要な観光資源としてSNSなどを活用した情報発信を充実させていきます。

さて、この冬から新型コロナウイルス感染症は、第8波に入り、全国的にも新規感染者が増加傾向にあります。

加えて、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の影響により、世界的に電気やガス、食料品などの物価が高騰し、地域経済や町民の皆さまの生活にも多大な影響が出ており、ご不安もあろうかと存じます。

若狭町では、物価高騰による生活支援と地域経済の活性化を図るために、町民1人1万円分の「わかさハッピー商品券」を配布する、物価高騰生活支援事業を実施させていただき、町職員も一丸となって昨年11月から12月にかけて各世帯に配布



をさせていただきました。

なお、商品券につきましては、町内の約230店舗でご利用いただけます。今月末までが使用期限となっておりますので、是非ともご利用いただきますようお願い申し上げます。

また、ウィズコロナの時代を見据え、デジタル化を更に推進することにより効率化を図り、生活の利便性を高めることにより、デジタルによる繋がりを実感し、子育て世代や高齢者の方々も安心して暮らすことのできる環境整備を進めていく必要があると考えております。

その基盤となるマイナンバーカードの普及促進にも力を入れており、町民の皆様方のご理解とご協力に感謝するとともに、マイナンバーカードをすでに取得された方々には、5千円分の「わかさハッピー商品券」を今月中旬より順次発送いたします。3月31日までに交付を受けられた方が対象となりますので、お早目の申請をお願いいたします。

集落や地域においては、SDGsの理念のもと地域の特性を活かした「協働のまちづくり」を更に展開していただくことにより、誰もが「心豊かに幸せを実感し、住み続けることのできる若狭町」の実現を皆さまと一しょに目指して参ります。

行政においては、SDGsのゴールである、プラスチックごみの削減やペーパーレス化、健康経営の目標達成に向けて取り組みを進めておりますが、職員一人ひとりの意識や能力を高め、町民の皆さまに親しみを感じていただけるような役場を目指し、町長としても職務にあたらせていただきます。

結びに、今年1年が素晴らしい年となりますよう念願するとともに、町民の皆さまの益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



◆ 子育て支援について

地域の宝である子どもや子育て世代の視点で考える「こどもまんなか社会」の実現を目指すため、「経済的」「ソフト的」「ハード的」の3つの切り口で、子育て支援に取り組んでいます。



経済的支援

児童手当、子ども医療費助成、国の新たな支援策である出産・子育て応援ギフトの実施 など

ソフト的支援

子育てアプリ「にじいろ若狭っ子」の導入、保育サービスや支援センターなどでのきめ細やかな相談 など

ハード的支援

県の補助事業を活用した遊び場整備事業や将来を見据えた保育所のあり方の検討 など

◆ 物価高騰生活支援事業

依然として感染拡大が収まらない新型コロナウイルス感染症をはじめ、ロシアによるウクライナ侵攻や世界的な異常気象によって、電力・ガス・食料品等の物価が高騰し、町民の皆さまの生活にも多大な影響を与えていることから、若狭町では、町民1人あたり1万円分の地域商品券「わかさハッピー商品券」を配付することで、町民の生活支援と地域経済の活性化を図っています。



使用期限
令和5年1月末まで

◆ マイナンバーカード取得応援

マイナンバーカードの集落出張申請受付の実施や、カード所有者(令和5年1月1日時点で若狭町に住所を有しカードを取得済みの方、また令和5年3月31日までにカードを取得された方※)に対し、1人あたり5,000円分の地域商品券を配布することで、マイナンバーカードの取得促進および、町民の生活支援と地域経済の活性化を図っています。 ※申請目安2月中旬まで



使用期限
令和5年4月末まで

介護などのお困り事は

地域包括支援センターは高齢者
住み慣れた地域で生活出来るように介護サービスや介護予防



骨折し入院したが、
退院後も
リハビリをしたい。

退院後もリハビリが続けられることが
わかった。家の中は段差だらけだ
が、介護認定されれば、手すりのレ
ンタルなど環境を整えられることが
わかって安心した。



高齢で1人暮らしの親が
足腰弱り、物忘れもでてきて、
買い物や調理することが
できなくなってきた。

介護認定されたので、ヘルパーさんに来てもら
い、買い物や調理の支援
を受けるようになり、1
人暮らしが続けられるよ
うになった。



家族が介護疲れで
精神的に
まいっている。

介護認定後、デイサービスに行けるよ
うになり、日中介護の時間が軽減され
たことで、気持ちが少し軽くなった。
ショートステイも使えると聞き、何か
用事があって泊まりで出かける時も
安心できるようになった。



※介護保険申請の窓口を担っています。
※介護保険サービスを利用するには介護認定が必要です。

お問い合わせ

福祉課地域包括支援センター
☎0770-62-2702

上中庁舎まで来所できない方、
ここまで来られるのに躊躇される方
はまず、お電話でご相談下さい。

地域包括支援センターへ

等地域住民の総合相談窓口です。

サービス、保健福祉サービスなど必要な支援につながります。

他にもこんな悩み、1人で抱え込んでいませんか？

介護の困りごと、悩みごと

- 介護のことで相談したいけど、行きにくい
- 退院したらベッドを借りたい
- 介護サービスって、どんなものがあるの？
- 介護するのがつらい
- デイサービスに行ってみたい
- 親の介護のことがどうしたらいいかわからない
- もうすぐ退院だけど家で介護できるか心配

介護予防に関すること

- 足腰が弱ってきたので運動したい

権利擁護に関すること

- 高齢の親がお金の管理ができなくなってきた

物忘れに関すること

- 最近、物忘れがひどくなってきた

**1つでもあてはまれば自分1人で何とかしようと思わず、
まず電話でも地域包括支援センターへご相談ください！**

社会福祉士

高齢者の様々な相談対応し、必要なサービスや制度利用につながるよう支援を行います。

主任ケアマネージャー

介護に関する相談やサービス調整、ケアマネージャーの支援を行います。

保健師

予防のための保健指導を通して高齢者の心身の健康を守ります。

ケアマネージャー

要支援者のケアプラン作成、相談対応を行います。

生活支援コーディネーター

住民のニーズにあわせた福祉サービスの開発やコーディネートを行います。

私達が
お手伝いさせて
頂きます！



手影絵パフォーマンス ハンド・シャドウ・ショー

チケット
好評発売中

■この“手”に限界はない!
4人のアンサンブルによって紡ぎだされる「手影絵」の動物たち、生命を吹き込まれた“影”たちが繰り広げる究極のパフォーマンス・ショーです。光と影が創り出す幻想的なステージをお楽しみください!
影絵遊びコーナーもあります!



開催日 / **2月12日(日)**

時間 / ①10:00~ ②14:00~ (2回公演)
チケット料金 / 一般1,000円 小学生以下500円
※全席指定・未就学児入場可

案内 パレア文化課 Tel:0770-62-2506(チケットカウンター)

優秀映画鑑賞推進事業

パレア若狭 映画の日

チケット
好評発売中



■軽やかなリズムと華やかな色彩にのせて、歌と笑いと夢にあふれた昭和の音楽・歌謡映画の決定版を4本上映します。

開催日 / **2月17日(金)**

エノケンの頑張り戦術 10:30~
(1939年・中川信夫・東宝・74分)
出演 / 榎本健一ほか

君も出世ができる 13:00~
(1964年・須川栄三・東宝・100分)
出演 / フランキー堺ほか

開催日 / **2月18日(土)**

ニッポン無責任時代 10:30~
(1962年・古澤憲吾・東宝・86分)
出演 / 植木等ほか

大当り三色娘 13:00~
(1957年・杉江敏男・東宝・94分)
出演 / 美空ひばりほか

※作品の詳細はパレア若狭ホームページをご覧ください。

主催 / 若狭町・国立映画アーカイブ
料金 / 1作品500円
(1日券は2作品800円)

案内 パレア文化課 Tel:0770-62-2506(チケットカウンター)

パレア若狭ミュージカルドリームプロジェクト 希望に向かって ~The Sound of Music~

チケット
好評発売中



■パレア若狭初住民参加型ミュージカル!小学生から社会人まで、様々な年代の皆さんと一緒に作り上げる舞台です。劇団四季出身俳優によるオリジナルの振り付けなど見どころ満載の公演をお楽しみください。

開催日 / **3月5日(日)**

時間 / 開場13:30
開演14:00

チケット料金 / 一般1,000円
高校生以下500円
※全席指定・未就学児入場可

案内 パレア文化課 Tel:0770-62-2506(チケットカウンター)

まちかどコンサート in若狭町



■役場フロアで歌とピアノのミニコンサートを開催します。ソプラノ歌手は劇団四季出身俳優でパレアミュージカルのゲスト出演者増田朱紀さん。ちょっと贅沢な平日のお昼休みをすごしてみませんか?

開催日 / **3月3日(金)**

時間 / 開場12:00
開演12:20

料金無料 申込不要
場所 / 若狭町役場三方庁舎

案内 ハーモニーホールふくい「まちかどコンサート」係 Tel:0776-38-8289

『パレ若塾』受講生募集!

親子ちらしずし作り教室

■小中学生のお子さんと参加できる親子向けの料理教室です。

3月のひな祭りを前に、若狭の伝統野菜・山内かぶらを使った「ちらしずし」を親子で作ります。



開催日/ 2月23日(木・祝)

時間/ 10:00~12:00

場所/パレ若狭 キッチンスタジオ

講師/山内かぶらちゃんの会

対象/小中学生とその保護者

定員/ 20人

参加料/ 1人1,000円

持ち物/エプロン、三角巾、持ち帰り用容器

※作ったちらしずしは、お持ち帰りいただけます。

案内 パレ文化課 Tel:0770-62-2508

Parea Wakasa パレ若狭 ギャラリー

Parea Wakasa

いわさきちひろの絵とハープの優しい音色 が出会う

朗読コンサート & ハープの体験会

春を詩う 絵本とハープのコンサート

◆佐々木 美香 朗読担当
パレミュージカル出演

◆「なまえをつけて」 谷川俊太郎 詩
(講談社) いわさきちひろ 絵

令和5年
2月26日(Sun)

開演 13:30 料金: 無料
(費申し込み)
定員: 30名

会場 パレ若狭 ギャラリー

いわさきちひろ ピエゾグラフィ展

令和5年
2月11日(土)~26日(日)

パレ若狭 ギャラリー 9:00~20:00
※火曜休館

主催: 若狭町

プログラム

★朗読コンサート

- ・なまえをつけて (絵/いわさきちひろ 詩/谷川俊太郎)
- ・ゆきの子のゆめ (絵/いわさきちひろ 文/立原久和)

★ハープコンサート

★ハープ体験

ルビコ/佐々木 美香 朗読/原音制作館 石田 雅生

◎お申し込み / 若狭町役場 パレ文化課 【 0770-62-2508 】 8:30-18:00 (火曜休館)

春を詩う 絵本とハープのコンサート

■いわさきちひろの絵とハープの優しい音色が出会う、朗読コンサートとハープの体験会です。

開催日/ 2月26日(日)

時間/開場13:00

開演13:30

会場/パレ若狭 ギャラリー

出演/佐々木美香

入場無料(要申込)



案内 パレ文化課 Tel:0770-62-2508

若狭町立図書館 リブラ館

Tel.0770-45-9115 Fax.0770-47-5363

にじいろのおはなし会

■図書館リブラ館 こどもひろばにて、毎月第4土曜日14時に紙芝居をします。参加無料で、赤ちゃんから参加できます。



開催日/ 2月25日(土)

時間/ 14:00~

場所/図書館リブラ館 こどもひろば

内容/ボランティア「にじの会」による紙芝居

料金/無料

図書館からのオススメ本

『乱れる海よ』

小手鞠るい/著

アメリカ在住の日本人ノンフィクションライターが、引越越し作業中にふと手にした一冊の本。それは50年前の世界的事件を追うことになる迷路の入り口だった。

半世紀前の1972年5月30日、イスラエルのテルアビブ空港で起こった乱射テロ事件。起こしたのは3人の日本の若者たちだった。彼らはなぜ遠い異国の地でそんな事件を起こしたのか。



写真でたどる

No.28

若狭町の歴史遺産

閻見神社の王の舞(成願寺)

三十三地区7集落が氏子を務める閻見神社で、4月5日の春季例大祭で行われる神事の一つで、福井県無形民俗文化財に指定されています。舞人、鉦持ちともに少年が務め、舞人は鼻高面・烏帽子・華やかな狩衣をつけて太鼓と笛に合わせて舞います。鉦を持つ動作、素手の動作の他、両袖を大きく振ったり足踏みしたりする動作が若狭町内各地の王の舞で共通しています。



いわさきちひろ ピエゾグラフィ展 ~いのちをみつめて~

■いわさきちひろは、モデルなしで10カ月と1歳のあかちゃんを描き分けたという観察力とデッサン力の持ち主で、子どものあらゆる姿を描きました。青春時代に戦争を体験したひろは、「世界中の子どもみんなに 平和と しあわせを」ということを残しています。ひろが描いた子どもや花の絵は、いのちの輝き、平和の大切さを語りかけています。

本展では、四季のなかで遊ぶ子どもたちの姿やあかちゃんを描いた代表作のほか、絵本『ゆきのひのたんじょうび』『戦火のなかの子どもたち』など、ひろの作品30点をピエゾグラフィにて展示します。

展示期間/

2月11日(土)~26日(日)

※火曜日休館

時間/9:00~20:00 入場無料

主催/若狭町・ちひろ美術館

案内 パレ文化課 Tel:0770-62-2508



赤い毛糸帽の女の子 1972年 『ゆきのたんじょうび』(至光社)より

ちひろ美術館学芸員によるギャラリートーク

日 時/2月11日(土) 10:30~

場 所/パレ若狭 ギャラリー

講 師/安曇野ちひろ美術館主任学芸員

山田実穂

参加費/無料(申込不要)